

令和7年度使用教科用図書調査に関する合同報告会議事録（第2日）

令和6年7月29日（月）13:00～
ユーアイ帆っとセンター 交流スペース

1 開会

2 開会あいさつ

3 協議事項

令和7年度使用中学校用教科用図書加印地区共同調査員会からの報告及び質疑応答

(1)数学

①班長からの報告

(2)保健体育

①班長からの報告

(3)美術

①班長からの報告

(4)技術

①班長からの報告

②質疑応答

委員：データ、デジタルコンテンツの活用について、様式2では標準的にすぐれていると評価されているが、様式1にそれについての報告がない。特に技術の分野なので、デジタルコンテンツの活用というのは、いろんな形で使えるのではないかと思うが、その点について各出版社がどのように考えたのか教えてほしい。

班長：様式2で◎のついた2社については、デジタルコンテンツの種類が豊富で動作環境がスムーズであり、いろいろな先生方が使いやすいという評価であった。

(5)家庭

①班長からの報告

②質疑応答

委員：「生徒の実態に合った配列になっている」という報告があるが、家庭科も技術と一緒に、領域は学校に任されているはずだが、この点について説明してほしい。目次を見ると、食生活からスタートする教科書と、家庭生活からスタートする教科書に分かれているが、なぜ生徒の実態に合っているのかがややわかりにくい。

班長：ご指摘のとおり学ぶ順序については学校裁量ではあるが、教科書の構成として、食生活に関する内容が早い段階から学べるのが、中学生という発達段階に合っていると評価している。

(6)外国語

①班長からの報告

②質疑応答

委員：様式1の説明では、東京書籍の概要は、「少ない」「わかりにくい」「長すぎる」というような、否定的表現が多いように感じる。その割には様式2評価との整合性が少しとれていないように感じるが、その点について教えてほしい。

班長：東京書籍に限らず全ての教科書が非常によく作られている中で、より特徴的な部分を評価しているが、否定的表現であったとしても、必ずしも「やや劣る」と評価しているわけではない。

委員：学習者用デジタル教科書について、今回英語はすべて使うことになっているが、その点についての調査報告がないので教えてほしい。

班長：どの出版社も共通した機能を有しており、大きな特徴は見られないが、動画や音声を学習者が学びに合わせて活用できる機能は、生徒の自学を促し、個別最適な学びにもつながると考える。

(7)特別の教科 道徳

①班長からの報告

4 連絡事項

5 閉会